

受付印		相 続 の 限 定 承 認 申 述 書	
収入印紙 円		(この欄に収入印紙800円をはる。) (印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手 円			

準口頭	関連事件番号 平成・令和 年(家)第 号
-----	-----------------------

家庭裁判所 御 中	申 述 人 の (共同相続人全員) 記名押印
令和 年 月 日	

添付書類	※具体的な添付書類については、手続の説明書ページの「相続の限定承認の申述の際に必要な添付書類」をご覧ください。
------	---

申 述 人	別紙「申述人目録」記載のとおり	
被 相 続 人	本 籍	都 道 府 県
	最後の住所	
	フリガナ 氏 名	平成・令和 年 月 日死亡

申 立 て の 趣 旨
被相続人の相続の限定承認をする。
申 立 て の 実 情
1 被相続人の相続人は、別紙申述人目録記載の申述人(ら)だけである。
2 申述人(ら)が相続の開始を知ったのは、平成・令和 年 月 日である。 それは <input type="checkbox"/> 被相続人の死亡当日 <input type="checkbox"/> 被相続人の死亡の通知を受けた日 <input type="checkbox"/> 先順位の相続人の相続放棄を知った日 <input type="checkbox"/>
3 現在判明している被相続人の遺産は、別紙遺産目録記載のとおりである。
4 申述人(ら)は、相続によって得た財産の限度で債務を弁済することにしたいので限定承認をする。
5 なお、申述人らの中で清算手続を行う相続財産清算人には次の者が適任だと思います。
氏 名 _____
被相続人との関係 _____

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 述 人 目 録

※	本籍	都 道		
		府 県		
	住所	〒	—	昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 () () 方)
	フリガナ氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
職業			被相続人との続柄	
※	本籍	都 道		
		府 県		
	住所	〒	—	昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 () () 方)
	フリガナ氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
職業			被相続人との続柄	
※	本籍	都 道		
		府 県		
	住所	〒	—	昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 () () 方)
	フリガナ氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
職業			被相続人との続柄	
※	本籍	都 道		
		府 県		
	住所	〒	—	昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 () () 方)
	フリガナ氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
職業			被相続人との続柄	
※	本籍	都 道		
		府 県		
	住所	〒	—	昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 () () 方)
	フリガナ氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
職業			被相続人との続柄	
※	本籍	都 道		
		府 県		
	住所	〒	—	昼間に連絡の取れる(携帯)電話番号 () () 方)
	フリガナ氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
職業			被相続人との続柄	

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、「申述人」と「法定代理人」の区別を記入してください。
限定(2/2)

遺 産 目 録 (限定承認用)

※ 各項目に該当するものがない場合には、「なし」と記載してください。

1 土 地 (不動産登記事項証明書, 固定資産評価証明書)

※ 相続分や共有持分等については、備考欄に記載してください。

所 在	地番	地目	地積 (㎡)	評価額	備 考

2 建 物 (不動産登記事項証明書, 固定資産評価証明書)

※ 相続分や共有持分等については、備考欄に記載してください。

所 在	家屋番号	種 類	構 造	床面積	評価額	備 考

3 現 金

金 額	保管場所 (保管者)	備 考

4 預・貯金 (残高証明書(預貯金通帳のコピー))

金融機関名	種類	口座番号	金額	通帳保管者	備考

5 有価証券(株券・国債・社債・手形・小切手等)

有価証券の種類	銘柄・振出人等	額面金額	数量	評価額(売却予定価格)

6 貸金等の債権

債権の種類	貸付日等	債務者名	金額	回収の見込み

7 その他

--

8 負債等 ※ 申立時点で判明している概算額を記載してください。

項目	債権者名	借入等金額	返済条件	残額	備考